



Cisco ワークグループブリッジの使用

- [機能情報の確認, 1 ページ](#)
- [Cisco ワークグループブリッジと Cisco 以外のワークグループブリッジについて, 1 ページ](#)
- [ワークグループブリッジ状態のモニタリング, 2 ページ](#)
- [WGB の問題のデバッグ \(CLI\) , 3 ページ](#)
- [ワークグループブリッジの設定例, 4 ページ](#)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報と注意事項については、ご使用のプラットフォームとソフトウェアリリースに対応したリリース ノートを参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

Cisco ワークグループブリッジと Cisco 以外のワークグループブリッジについて

WGB とは、Autonomous IOS アクセス ポイント上で設定でき、イーサネットで WGB アクセス ポイントに接続されたクライアントの代わりに Lightweight アクセス ポイントに無線で接続を提供するモードです。イーサネット インターフェイス上の有線クライアントの MAC アドレスを記憶し、それを Internet Access Point Protocol (IAPP) メッセージングを使用して Lightweight アクセス ポイントに報告することで、WGB は単一の無線セグメントを介して有線ネットワークに接続します。WGB は、単一の無線接続を Lightweight アクセス ポイントに確立して、有線クライアントに無線で接続できるようになります。

Cisco WGB が使用されている場合、WGB は、アソシエートされているすべてのクライアントをアクセスポイントに通知します。スイッチアクセスポイントにアソシエートされたクライアントを認識します。シスコ以外の WGB が使用されている場合、スイッチには、WGB の後方にある有線セグメントのクライアントの IP アドレスに関する情報は伝わりません。この情報がないと、スイッチは以下の種類のメッセージをドロップします。

- WGB クライアントに対するディストリビューションシステムからの ARP REQ
- WGB クライアントからの ARP RPLY
- WGB クライアントからの DHCP REQ
- WGB クライアントに対する DHCP RPLY

ワークグループブリッジ状態のモニタリング



(注) スイッチ GUI を使用してこのタスクを実行する手順は現在利用できません。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device# enable	特権 EXEC モードを開始します。
ステップ 2	show wireless wgb summary 例： Device# show wireless wgb summary	ネットワーク上のワークグループブリッジ (WGB) を表示します。
ステップ 3	show wireless wgb mac-address wgb_mac_address detail 例： Device# show wireless wgb mac-address 00:0d:ed:dd:25:82 detail	特定の WGB に接続されている有線クライアントの詳細を表示します。

WGB の問題のデバッグ (CLI)



(注) スイッチ GUI を使用してこのタスクを実行する手順は現在利用できません。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例 : Device# enable	特権 EXEC モードを開始します。
ステップ 2	debug iapp all 例 : Device# debug iapp all	IAPP メッセージのデバッグをイネーブルにします。
ステップ 3	debug iapp error 例 : Device# debug iapp error	IAPP エラーイベントのデバッグをイネーブルにします。
ステップ 4	debug iapp packet 例 : Device# debug iapp packet	IAPP パケットのデバッグをイネーブルにします。
ステップ 5	debug mobility handoff [switch switch_number] 例 : Device# debug mobility handoff	ローミング問題のデバッグをイネーブルにします。
ステップ 6	debug dhcp 例 : Device# debug dhcp	DHCP を使用する場合の IP 割り当ての問題をデバッグします。
ステップ 7	debug dot11 mobile 例 : Device# debug dot11 mobile	dot11/モバイルデバッグをイネーブルにします。スタティック IP を使用する場合の IP 割り当ての問題をデバッグします。
ステップ 8	debug dot11 state 例 : Device# debug dot11 state	dot11/ステートデバッグをイネーブルにします。スタティック IP を使用する場合の IP 割り当ての問題をデバッグします。

ワークグループブリッジの設定例

WGB の設定 : 例

次に、40 ビットの WEP キーでスタティック WEP を使用して WGB アクセス ポイントを設定する例を示します。

```
Device# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Device(config)# dot11 ssid WGB_with_static_WEP
Device(config-ssid)# authentication open
Device(config-ssid)# guest-mode
Device(config-ssid)# exit
Device(config)# interface dot11Radio 0
Device(config)# station-role workgroup-bridge
Device(config-if)# encry mode wep 40
Device(config-if)# encry key 1 size 40 0 1234567890
Device(config-if)# ssid WGB_with_static_WEP
Device(config-if)# end
```

この WGB がアクセス ポイントにアソシエートしていることを確認するには、WGB に次のコマンドを入力します。

show dot11 association

以下に類似した情報が表示されます。

```
Device# show dot11 associations
802.11 Client Stations on Dot11Radio0:
SSID [FCVTESTING] :
MAC Address      IP address      Device          Name           Parent          State
000b.8581.6aee  10.11.12.1     WGB-client     map1           -               Assoc
ap#
```